

「松山子規事典」刊行に当たつて

松山子規会は昭和十八年一月の発会以来、七十余年にわたり正岡子規顕彰を続けその成果を蓄積してまいりました。平成二十九年は子規が松山に生まれて一五〇年の記念の年を迎えました。この節目の年にこれまでの成果を集大成し、子規の郷里松山からわが国で初めての「松山子規事典」を松山子規会編として出版いたします。

正岡子規は、明治の時代に俳句、短歌、写生文などに新風を巻き起こし、晩年は病とその大きな痛苦の中で生命の限りに生き続け、文学革新に邁進しそれを不朽のものとしました。

この度の「松山子規事典」は、「子規と松山」に関する事項を中心に、子規の世界を理解していくたゞく子規に関わる諸事項の項目を五十音順に配列し、文献資料だけでなくより松山に密着し、子規が見聞きしたであろう場所を実際に歩いて探索し、実証的に取材を重ねその新しい成果も取入れ、子規の故郷ならではの事典として編集・構成に重点を置いております。

子規のふるさと松山のすべてを網羅し、全国の子規ファン、子規研究家待望の「松山子規事典」として皆様にお届けいたします。

平成二十九年春

松山子規会

「松山子規事典」を推薦します

稲畠

汀子・公益社団法人日本伝統俳句協会会長

虚子記念文学館館長

茨木

和生・俳人、大阪俳人クラブ会長

大串

章・公益社団法人俳人協会会長

大野

玄妙・法隆寺管長

岡田

麗・柿衛文庫館長

館田

勝弘・陸羯南会会长

工藤

一紘・石井露月研究会会長

小池

光・歌人、仙台文学館館長

篠

弘・日本現代詩歌文学館館長

辻原

登・県立神奈川近代文学館館長

坪内

稔典・俳人、京都教育大学

西谷

剛周・俳人、斑鳩吟社代表

半田

美永・東京子規研究の会会長

半藤

一利・作家

復本

一郎・国学者、神奈川大学名誉教授

古里

薰・山寺芭蕉記念館館長

宮坂

静生・現代俳句協会会長

元吉喜志男

・高知県立文学館館長

中村

時広・愛媛県知事

井上

正・愛媛県教育委員会教育長

野志

克仁・松山市長

藤田

仁・松山市教育委員会教育長

市村

公子・愛媛県文化協会会長

一色

光・公益財団法人愛媛県教育会理事長

熊野

伸二・まつやま山頭火俱楽部理事長

小沼

大八・一遍会代表

高須賀

康生・伊予史談会会长

竹田

美喜・松山坊つちやん会館長

土居

英雄・松山市文化協会会長

夏井

いづき・俳人

福谷

俊子・愛媛県俳句協会会長

松井

忍・NPO法人GCM庚申庵俱楽部理事長

松本

啓治・坂の上の雲ミュージアム館長

村上

匡・今治市河野美術館館長

安永

江悠・公益財団法人

愛媛県吟劍詩舞道総連盟理事長

(お名前は知事、市長、教育長を別にし、愛媛県外、県内ごとに、五十音順とさせていただきました。敬称略。)

郵便はがき

790-8790

松山子規会「松山子規事典」予約係

不二印刷(株)内

料金受取人払
松山中央局承認

3698

差出有効期限
平成31年4月
1日まで
(切手不要)

松山子規事典 内容・項目から

本編項目五十音順に配列

和田克司「正岡子規」 約六〇〇項目

復本一郎「子規庵に出入りした人々」

一般項目五十音順に配列の他

重要項目は特集開み項目

項目関連の「写真」「地図」「絵画」など

子規と松山韻文作品抄

坪内稔典「子規の俳句」

子規の俳句抄

松山秀句(散策集除く)

子規の短歌抄

馬鹿も貧公園で池はされるのである

「散策する子規の姿が見える!」
「語りかける子規の声が聞こえる!」
「子規の松山が広がる!」
「子規の生きた時代が蘇ってくる!」

子規の漢詩・解説

松山の漢詩抄

子規の短歌・解説

松山秀句(散策集除く)

子規の新体詩

子規の方言

松山の方言

正岡子規年譜

子規資料

正岡子規年譜

子規の親族、年齢ごとの子規の身長・体重など

全国の子規碑

ほか

正岡子規年譜

測定年月日	身長	体重
明治八年六月十日	一六〇・九cm	四八・四kg
明治二十一年三月三日	一六四・〇cm	五一・六kg
明治二十二年三月七日	一六四・〇cm	五一・六kg
明治二十三年三月七日	一六四・〇cm	五一・六kg
明治二十四年三月七日		